

学校教育目標

津山市立
高野小学校
学校だより
第 12 号

自立する子どもを育てる

にじいろ たかの

めざす子ども像

大切に
考える子
の
伸びる子


令和8年1月号

文責：高岡昌司

2026年 あけまして おめでとうございます。

令和7年度残り3カ月、どこまで伸ばすか。学校の使命とは…

【知識を与える所】から【自分で考え、行動し、社会とつながる力を育てる所】へ




新年明けましておめでとうございます。

皆様、本年も昨年同様、本校教育活動にご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願いします。

私たち教職員一同、子どもたちが、安心安全で、楽しんで学校生活が送れるように力を合わせて教育活動を行っていきます。どうぞよろしくお願いします。

令和8年（2026年）1月
午年



今年は午年。その特徴は、馬は活発で自由を愛する動物であることから、午年は「エネルギーで行動的な年」と言われます。新しいことに挑戦し、変化を恐れずに進んでいくのによい年です。スピード感が大事で、チャンスが来たらすぐに行動すること。

また、馬は感情豊かで直感的な動物であり、気持ちに正直に動くことも重要である。高野小学校は、小学校卒業時の自分の目標をしっかりと共有しながら今年も本気でやってまいります。3学期も、保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年

1月・2・3月(3学期)の主な行事予定

1月 7日(水) 始業式

1月 8日(木) 給食開始

1月17日～19日 きらきら作品展

1月21日(水) 短④ 小学校入学説明会

2月 6日～8日 教育美術展


2月19日(木) 参観日・学級懇談

2月25日(水) ありがとう集会(4年主催)

2月27日(金) 6年生を送る会(5年主催)

3月19日(木) 卒業式

3月25日(水) 終業式・修了式・退任式



『保護者の皆さんと共有したいこと』(高野保育園広報紙「ひまわり」より)

～道徳心、語彙力・計算力、毎日の家庭学習～

2学期、高野保育園から原稿依頼があり、『保護者の皆さんと共有したいこと』として、【小学校卒業までに身につけてほしい力】をテーマに校長の考えを執筆しました。

昨年度の学校だより(1月新年号)と同じ内容ですが、是非、本校の皆さんにも共有させていただきたいと思います。

「勉強なんかできんでもええ」「宿題がたいがい」「俺だけが悪いんじゃない」「ちょっと遅ただけじゃがな」「ルールばかりうるせえ」等、本校の子どもから聞こえてくる声です。

子ども個々には、その時その時の状況があり、思いがありますので、十把一絡げ(じっぱひとからげ)には、もちろん言えませんが、以下は、小学校教育の基本的な考えです。

本校の児童の状況を見ながら、本校を卒業するまでには、下の3つの視点を大切にしていきたいと改めて感じています。保護者の皆さんにも、「高野小学校で何を学び、なぜ学ぶのか」について、共有していただき、子どもへ伝えていただけると心強く思います。

☆【道徳心】は、人格形成に大きな影響を及ぼします！

仲良く交流できるコミュニケーション能力・友達を思いやる言葉がけや態度、「うれしい、楽しい、ありがとう、いいよ」の素直な言動、協調性等は最も必要なことだと思います。これらは、小学校という集団生活だからこそ、自然な習得が期待できるスキルです。友だちや他学年の子どもたちとの対人関係のなかでこそ、道徳的な心が育まれます。人格形成に欠かせない、社会で生きていく上で最も重要なものです。

例：時間やルールを守る。挨拶する。自省する。「ごめんなさい」が言える。等

☆【「語彙力」と「計算力」】は、パソコンでいうOSです！

基礎学力面では「語彙力」と「計算力」です。パソコンのOSであるハードに当たる部分で、どんなアプリ(ソフトウェア)も、OSを起動させなければ使うことが出来ません。またOSが不十分であると、アプリ(ソフトウェア)の機能が十分でなく、作業時間が長くなったり、使えないアプリ(ソフトウェア)が出てきたりします。

「語彙力」で大切なのは、「漢字」と「言葉の数」です。小学校で習う漢字は正しく使えるようにすることで、中学生からのすべての教科に影響を及ぼします。また、言葉は最重要のコミュニケーションツールで、言葉の数が多ければ、それだけでコミュニケーションの力が高くなります。読書の習慣がある子の方が言葉の数を多く持っています。

「計算力」は、いうまでもなく数値計算の力です。数の感覚や計算のコツを身につけて上手に効率的に計算できることが重要です。算数から得られるスキルは、生活のしやすさに直結します。例えば、お小遣いのやりくり、ケーキの分け方、時間管理等、大人になってからもあらゆる場面で必要となる力です。特に、九九と四則演算(足し算、引き算、かけ算、わり算)の繰り上がり繰り下がり、数学の基礎で、すべての思考の土台となる重要な力です。決して、点数をとることや高校に行くためだけのものではありません。

☆「自主性・生活習慣」のために【毎日の家庭学習】です！

「毎日の家庭学習」を継続することは、学力定着以上に、時間管理能力や自己管理能力、問題解決能力、創造性、忍耐力などの自発的な学習習慣が身につきます。「親に言われてやる」→「自分からする」→「時間を決めて必ず自らやる」へと習慣が身につけば、必ず、中学校に入ってから伸びます。家庭学習を重視する理由はここに 있습니다。小学校卒業までに是非身につけたい習慣であることをご理解いただき、声をかけてください。

小学校は、子どもにとって、「学ぶ場所」であり「育つ場所」でもあります。

学校での日々の学びには、「自立する子ども育てる」大きな意図や力がある！